

(2)

きはいいという案を強固にしたい。それから
ら二年あまりを経過した現任この級を研究家
会で大学のあり方から問題とせば私のにはいい
いわけ地味があると思えます。また、
~~私の~~大学のあり方に關する物の問題案のす
べてについて、打ち入つて決める階層はあり
ませんし、私もその階層と私にはいいと判断
していい。私は、仁白先生の研究を研究
者の一人として、権威に感じて、二、三の案を
本へて皆さんに研究にしたいと思ひます。

(岩波書店原稿用紙)

(3)

す。 大学は研究と教育の場であり、この場の中
で私たちは基礎を探究し発見し、^{その}発展の人たち
や世界の人たちに~~その~~伝達することを使
命としている。~~その~~重要なこととして、^{その}ありませ
ん。と、これが現実の~~重要な~~ことで、私たちが知り得
るに^{その}現れ、私たちが発見するべきとして発見が可
能だと思われ、~~その~~基礎の一部にすぎないのて
ありませぬ。それと、~~その~~私たちが基礎の一部
だと思つていられるものの中にも、将来を決定される

「昨年申しました通り。」

(岩波書店原稿用紙)

(4)

かあるいは修正される可能性のあるものがある
いとほやえびのてありある。そしてそれな
にこそ、私にちほ密地を標本しつづけているの
てありある。のてがなで私にちほ密地を標本しつづけて
これには自明なことである。これこそ、
に大学のあり方として大学という場の中にい
る私たちが一人一人のあり方を考える場合の
所業とある。ありある。私にちほ大学の所業
か研究教育活動に従事する職間は平均として
三十年ないし四十年の歳月に及りある。そう

(岩波書店原稿用紙)

しかし。
のてがなで私にちほ密地を標本しつづけて

(5)

いふ事、勘に及つて、其の程を察し、つゞけ、御も
いうことば、一方において、は、非常な感、動、れ、に、染
しいこととあり、ま、あ、が、しかし、他、方、に、お、い、て、そ
れ、ほ、苦、しい、こ、と、と、あ、り、^{（さ、ら、に、）}、^{（さ、ら、に、）}、こ、と、と、せ、え、あ
う、ま、あ、^{（さ、ら、に、）}、^{（さ、ら、に、）}、私、は、近、所、に、あ、る、こ、と、に、お、い、て、感
を、受、く、し、て、い、る、の、と、あ、り、ま、あ、^{（さ、ら、に、）}、^{（さ、ら、に、）}、何、故、か、と、思、し
ま、あ、と、三、四、十、年、と、い、う、年、月、の、前、に、私、た、ち、の、そ
れ、が、私、が、感、ず、く、ま、あ、^{（さ、ら、に、）}、^{（さ、ら、に、）}、い、る、分、の、程、の、感、動、が、相、者、大
き、く、あ、る、と、い、う、こ、と、は、さ、ら、に、感、動、の、程、が、即、ち、同
の、相、互、に、あ、る、と、い、う、こ、と、は、さ、ら、に、感、動、の、程、が、同、じ、と、い、う、こ、と、
い、て、は、

(岩波書店原稿用紙)

に

(6)

しての音も ~~おもしろい~~ 面白いであり
 もちろん相対性をいかにして表現するかの
 問題は、その際、物理学的な表現の自由と
 私には、その自由が物理学的な表現の自由と
 おり、その自由が物理学的な表現の自由と
 さい、その自由が物理学的な表現の自由と
 物理学的な表現の自由と、その自由が物理学的な表現の自由と、
 あつても、それらの自由が物理学的な表現の自由と、
 間に即ち、その自由が物理学的な表現の自由と、
 中に即ち、その自由が物理学的な表現の自由と、

らうか

の研究

(岩波書店原稿用紙)

(8)

として成人の大人の不機嫌というものを計
画し、実行して見ました。私をいふは二つの目的
をたつていすした。一つは中野以上の研究の
基がなかりであり、もう一つは花は研究の基が
なかりでありました。花は研究の基がなかりと
申し、あると大抵おかしく、強制的に聞えすが
私の意味するところでは

あるいは

私をいふは

(岩波書店原稿用紙)

10

(A1)

昭和三十一年十一月二十日

② 大隈の陣の行政制度の答申に付する
意見の中は

(1) 表層部は基礎研究、応用研究、同種研究

と分類し、研究本部の進出後の段階は

として分類し、そのものである

(2) 各研究科を種々の技術科として、行政上の

視察と立脚の相違から分類して、各研究

科の完成度とある行政科の独立性、自給

性との創造性を著すものがある

(岩波書店原稿用紙)

(A2)

約 100 年 以上 日 法 純 正 人 の 立 場
から 決 然 然 日 進 展 現 成 果 を 評 価 推
奨 し て こ れ を 廣 告 さ せ る 特 殊 な 決 意 し 日 法
協 定 協 定 協 定 協 定 の 一 部 主 眼 的
研 究 協 定 協 定 協 定 協 定 協 定 協 定 協 定
の 一 部 主 眼 的 研 究 協 定 協 定 協 定 協 定 協 定 協 定

(岩波書店原稿用紙)

12

湯川

「学の進化 (B.1)

「学の進化

共同利用の申請書類の作成 (A.1)

「成人学校」 - 1951年 - 1952年度の間の -

「若い人たちのための」 - 学内における教育者としての

「学の進化」 - 1951年 - 1952年度の間の -

「大学の形態」 (岩波書店原稿用紙)
「学の進化」 - 1951年 - 1952年度の間の -
「学の進化」 - 1951年 - 1952年度の間の -

